

Header information table including: 事務事業名 (起業創業・経営支援事業), 所属部 (産業観光部), 所属課 (商工振興課), 政策名 ((V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>), 施策名 ((33)地域資源を活かした産業の創出), 担当者名 (須山 雄介), 電話番号 (0854-40-1052), 予算科目 (013513, 051007).

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

Summary table for (1) 事業概要, including ① 事業期間 (Period: 27年度~R元年度), ② 事業内容 (Content: 市内で事業を営む経営者の相談支援...).

(2) 事務事業の手段・指標

Activity and indicator table for (2) 事務事業の手段・指標, including ① 主な活動 (Main activities) and ② 活動指標 (Activity indicators) with a table for 28, 29, 30, and next year's performance.

(3) 事務事業の目的・指標

Purpose and indicator table for (3) 事務事業の目的・指標, including ① 対象 (Target) and ② 意図 (Intent), and ③ 対象指標 (Target indicators) and ④ 成果指標 (Result indicators) with performance tables.

(4) 事務事業のコスト

Cost table for (4) 事務事業のコスト, including ① 事業費の内訳 (Breakdown of expenses) and ② コストの推移 (Cost trends) with a table for 28, 29, 30, and next year's costs.

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

Environment and resident opinion table for (5) 事務事業の環境変化、住民意見等, including ① 環境変化 (Environment change), ② 改革改善の経緯 (Reform process), and ③ 関係者からの意見・要望 (Opinions and requests).

事務事業名	起業創業・経営支援事業	所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	これまで以上に、商工会等の支援団体との綿密な連携が必要。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	新規創業の促進や事業承継・事業拡大等に必要の後継者の確保と育成が進まない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		経営的な観点からの起業・創業支援や、事業承継の支援を行う手段として他の事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		市外からの新規創業者の呼び込みや経営支援には専門的な知見とそれに特化した取組みが求められることから、そうした事業のノウハウを有する外部団体への委託が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		事業承継専門員や関係支援機関との情報共有に際し、経営に関する知見を有する職員の配置が望ましい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		経営を取り巻く環境は様々であることや、個社が抱える課題は異なるため、モデル事例を絞り込んで支援する必要があるため、受益者負担は必要である。
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
起業創業、事業承継の推進は、ともに市の喫緊の課題であり、幸雲南塾との連携により案件が増えている。国や県も支援体制を強化しているなか、市としても人口の社会増に向けUターン者など多様な人材を誘致することで、力強い地域経済の実現と地域活性化に繋がることが期待できる。				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継は極めて繊細なテーマであるため、情報管理の徹底を行わなければならない。</li> <li>新規事業の立ち上げのアドバイスに留まるのではなく、創業後もしっかりと伴走できるよう経営サポートを行う必要がある。</li> <li>国県支援団体や金融機関との連携強化が重要である。</li> <li>家族内承継は商工会が中心となって担い、産業振興センター(U-Biz)はUターン者などの第3者承継に特化するなど、役割分担を明確化する必要がある。</li> <li>創業支援事業計画の更新に向けた計画の改正案を作成する必要があり、相談体制の強化を含めて検討する。</li> </ul>	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		